



学校だより

校訓
自立
貢献
信頼

学校教育目標

- ・自ら学ぶ生徒
- ・思いやりのある生徒
- ・健康に努める生徒

希望を胸に未来へ前進する学校

令和8年4月1日 生徒数 911名



力を合わせて新たな一歩を

校長 金子 二郎

卯月4月を迎えましたが、思いのほかぐずついた空模様の日も多く、満開となったばかりの桜の花も冷たい雨に打たれて、どこか寂し気な姿を見せていました。晴天の下での花見とはいかないまでも、そこかしこで花筏を楽しむことができるのは、またある意味、風流と言えるのかもしれません。令和8年度となり本校でも始業式に引き続き、309名の新入生を迎えて入学式を挙行いたしました。期待に満ちた子供たちの笑顔に触れて素晴らしい一年とすべく、新たな気持ちで教職員一同も新年度のスタートを切りま



した。ご挨拶が遅れましたが、4月1日付で朝霞市立朝霞第一中学校第25代校長を拝命いたしました、金子二郎と申します。歴代校長のみならず多くの先達が積み上げてきた伝統を誇る本校に着任し、改めて身が引き締まる思いがいたします。911名の生徒にとって豊かな学びの場となるよう、微力ではございますが誠心誠意勤めを果たしてまいる所存です。保護者の皆様や地域の方々におかれましては、これまでと変わらず本校の教育活動に対してご理解とご協力を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

さて、表題と並べてお示した「校訓」と「学校教育目標」を踏まえ、今年度私たちが目指していく学校の姿を「希望を胸に未来へ前進する学校」といたしました。中学校の3年間をもって義務教育が修了します。もちろん卒業後は高校等へ進学し勉学を続ける例も少なくありませんが、小学校と合わせた9年間で社会のフルメンバーとなって生きていくために必要な力を身に付ける場が学校です。社会は刻一刻と変化し先行きの不透明感は増すばかりです。社会から求められる力も多様となり、与えられる知識や技



能を受動的に吸収しているだけでは十分とは言えず、自ら柔軟にそして貪欲に学びながら成長していくことが求められています。力強く未来に向かって前進していくためにも、一人一人の子供がゴールイメージを描くことができる様々な希望を胸に秘めていることが大きな意味を持ちます。希望を持って前進する子供の舞台となる学校であるためには、教職員はもちろん本校にかかわる多くの大人が、まずは希望

を胸に毎日を過ごしていることが大切なのではないでしょうか。一人一人の子供から「あの人のような素敵で大人になりたい」と憧れを持たれるロールモデルとなることで、より素晴らしい学校となります。本校は昭和22年4月1日に創立・開校し、開校80年を迎える節目の年となりました。伝統と歴史を重んじた上で本校の強みを発揮し、さらなる発展を期してリスタートを切ります。本校にかかわる多くの皆様のお力添えをいただきながら、より良い学校づくりを進めることができると心から願っております。



前進するなら、歴史を繰り返すのではなく新しい歴史をつくろう (マハトマ・ガンジー)